



みんなのあもり歳忘れ会

報告：宅老所みんなのあもり介護士 山岸

今年の歳忘れ会は、「みんなが顔を合わせて、お互い歳をとることを喜ぶ」を目的に、昔懐かしい『餅つき』をしようということで、歳忘れ会の準備がスタート。今回は係など決めず、日常の一場面にて、餅つきをするということで、ハルキさんに杵や臼を取りに行ってもらったり、ヒサヨさんに材料の買い出しに同行してもらったり、チエコさんに掃除をしてもらいました。

また、飾り付けにみんなで貼り絵を制作してもらったり、スタッフには会場準備・セッティング、もち米や蒸かし器の持ち寄り、食事の準備など各自協力してもらいました。



当日は、朝から台所でヒサヨさんが豚汁作り。ごぼうの笹搔きを、慣れた手つきでさばき、ボランティアの方々にも食事作りを協力して頂き作業がはかどりありがとうございました。

とんぼハウスの傍では、スタッフがもち米を蒸かし器で火の番をしながら、蒸かし始めていました。お年寄りやスタッフやご家族は、その様子を窓から眺めながら餅つきの思い出話に花が咲き、臼に蒸かし米が入ると、いよいよ杵の出番です。

チエコさんが腕まくりをされて、「ちょっと私、手ごねをやってくわ！」と臼のそばへ。上手く息を合わせて餅をこねていました。外の餅つきの様子を見ていた、ミサさんにスタッフが「餅つきしてみますか？」と声を掛けると、「さんざ、やったやった」と故郷での生活を思い出しながら餅つきの様子に目をこらしています。



ご家族の方々も、「やったことはないけど、やってきます！」と次々と積極的に参加され、そんなご家族の餅つきの様子を見て、ニシさんも楽しそうな顔。宅老所へ以前研修でいらした県の職員さんも娘さんを連れて飛び入り参加。親子で力を合わせて一生懸命、杵をふるっています。「ヨイショ、ヨイショ！」と威勢のいい掛け声が、部屋の中まで響いてきました。参加されている方々の掛け声も回数を重ねるごとに、一つになり、近くにいたハギノさんは、いつもとは違ったいい笑顔で餅つきの様子を楽しそうにご覧になっていました。



さて、ついたお餅は、皆さんで丸めてもらいました。関西では「丸餅」というそうで、長野とは違う食文化に触れて、楽しまれています。「手にとっついちゃう」と言いながら、仲良く一緒に丸めているマタさんご夫婦。

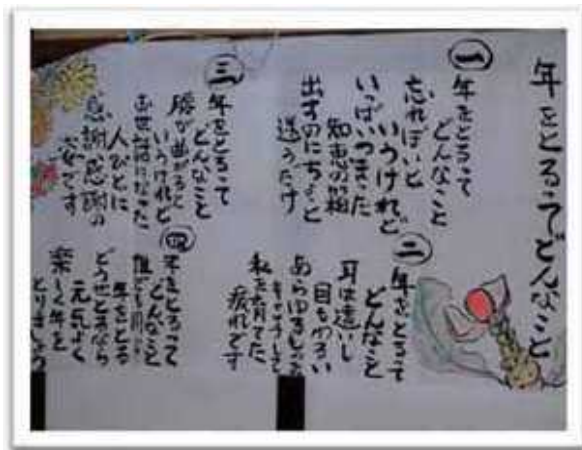
餅を分けるスタッフの方がお年寄りの手慣れたペースに追い付かず、悪戦苦闘でした。

一方、室内では昔馴染みの唱歌を歌ったり、ボランティアさんが持ってこられた手作りのけん玉に挑戦されたり、『もしもしかめよ』の歌に合わせた素敵な替え歌がとても印象的でした。その歌詞を聞くと、チエコさんは涙ぐんでおられました。



昼食は皆で一緒に乾杯をして、お互いの労をねぎらいました。沢山のご馳走に舌鼓を打ち、何度も箸をのぼしておられました。食後は、心地よい疲れと満足感からか、ウトウトされている方もいました。中には、興奮が冷め止まぬように、お昼寝中ずっと隣の方と話をされ、お互い笑って楽しく過ごされている方もいました。

もみじで働くようになって、歳忘れ会を何度か経験しましたが、今回の歳忘れ会はいつも以上に『みんなのあもり』らしさがよくあらわれていた、にぎやかでみんなが笑顔の良い歳忘れ会でした。皆さん、準備から本番、後片付けと、大変お疲れ様でした。



グループもみじホームページでは、法人内4か所の宅老所の様子や、認知症ケアについてのコラムなど掲載しております。
 お便りのバックナンバーなどは是非ご覧ください。

介護でお困りの事などお気軽にお問い合わせください。見学も随時受け付けております。

宅老所みんなのあもり	026-226-0903 (柳澤)	宅老所さくら	026-244-7104 (中村)
タヤけ小やけ	0263-87-2760 (奥原)	宅幼老所夢いちもんめ	0263-26-1680 (今井)
居宅支援青もみじ	0263-87-1026 (森田)		



NPO法人グループもみじ 〒380-0941 長野県長野市葎ヶ淵 1861

電話 026-227-4425 FAX 026-217-7764 ホームページ [グループもみじ](#) [検索](#)

※バックナンバー掲載しています